

## 活動計画書 / 活動実施計画書

団体名：平針学区連絡協議会

### 1 組織の現況、課題

平針学区の令和5年4月現在の世帯数は5,365戸、人口は11,537人である。そのうち、令和4年度の町内会への加入者は2,415戸であり、加入率は60パーセント未満である。その原因としては、戸建ての世帯はほとんど町内会に加入しているが、民間経営の集合住宅の加入率が低いことにあると思われる。特に近年は、比較的大きな集合住宅への加入者の高齢化に伴う町内会脱退者が進むと同時に、規模の小さい集合住宅が増え、世帯数の割に町内会加入者の割合が低下してきている。

この学区を運営する連絡協議会のメンバーは、区政協力委員・各種団体の長など21名で構成されており、年1回の総会、年3回の定例会が開催されているが、メンバーが固定化するとともに高齢化してきている。また学区行事についてもマンネリ化などしている。

そんな中、町内会加入者には市・区発行のチラシ等の回覧だけではなく、学区行事の案内以外にも、行事結果や学区の様子を伝える「平針コミュ」を年数回発行し、情報の共有に努めている。しかし、この情報は、町内会加入者への伝達に限られており、より広報の必要性を痛感している。また、タイムリーな情報発信を促すためにもIT化を図ることの必要性も痛感している。市でも町内会加入促進のため、IT化の支援に乗り出している。このことを背景に、企業などと連携しつつ、インターネットによる情報共有を進める手段としてホームページを作成することは、学区住民の「安心・安全で快適なひらばりの街」作りに向けての学区運営に重要であると考えられる。

### 2 助成を受けようとする活動の目的

学区の様々な行事や施策を回覧板が回る町内会会員だけではなく、集合住宅などに他地区から転入した若年層や子育て世代に伝えるため、ホームページを制作することで、町内会の活動内容や入会案内（入会のメリットの紹介など）をして加入率を高めたい。そうすることで、学区の行事への参加者が増え、街の中で顔の見える関係作りができるようになり、高齢者等の孤立化を防ぐことが期待できる。また、有事の際の連携が強化されることにもつながると考える。そのためにも、地域の連携を深くするための情報発信の手段として、ホームページの開設をする必要性を痛感している。

### 3 活動による今年度の成果目標

まず、ホームページを立ち上げ、今までの「平針コミュ」による回覧とともに、若い世代の人たちにも積極的に学区行事に参加しようとする気運を高める必要があると考える。そのため、民間の協力を仰ぎ、年度内にホームページを立ち上げ、「平針コミュ」による情報発信と並行して、ホームページの作成を急ぎ、住民のニーズを少しでも多く取り上げられるようにしていきたい。

#### 4 助成を受けようとする今年度の活動内容

公民館のIT化の第一歩として、コミセンにWi-Fiを導入し、学区住民が自由に使えるような体制を整えるとともに、ホームページと「平針コミュ」の並行により学区住民の学区行事等への関心喚起を図っていく。そのために、「地域活動活性化委員会」を立ち上げ、ホームページの内容等を検討していく。

「地域活動活性化委員会」については7月10日付の「平針コミュ」にて参加者を募集したところ、7名の応募があり、7月29日に第1回の委員会を開くことができた。

それに先立ち、7月15日には、若い世代への関心を高めるために、小・中PTA、子ども会。おやじの会の代表者と意見交換会を開くことができた。

また、SNS活用のため、「盆踊り実行委員会」や「地域活動活性化委員会」ではLINEを構築し、将来の学区LINE設置に向けて動き始めている。

今後は、ホームページの作成に向けて月1回のペースで「地域活性化委員会」を開催し、その内容を「平針コミュ」等に掲載し、学区住民にホームページの作成に向けての情報の共有を図っていききたい。

#### 5 今年度の活動実施の際に協力や調整等が必要となる関係者等

学区区政協力委員を始め、学区の各種団体の代表者らとIT化について、共通認識を図りながら、その一方で、学区在住の若い人たちの力を借りて、学区行事をより魅力あるものとするよう、常に情報発信ができるような体制を整えていきたい。そのための手段として、今までも連携してきた「平針駅前商店街」や平針小学校PTAの「ばりばりとうちゃんず」などの力も借りるようしていきたい。

#### 6 今年度の活動内容のスケジュール

年 月	活 動 内 容
2023年 5月	学区連絡協議会（活動方針・学区行事推進計画の共通理解）
2023年 7月	ホームページの立ち上げ決定 「地域活動活性化委員会」設置
2023年 8月	ホームページレイアウト検討
2023年 9月	ホームページレイアウト決定と載せるべき内容等の検討
～2024年3月	（随時「平針コミュ」等で情報共有を図る。）

#### 7 活動後、次年度以降の展望

「IT化」によって何ができるのかを、学区各種役員だけでなく、特に若い世代の声を聞きながら、「安心・安全で快適なひらばりの街づくり」の一助となるような情報発信をしていきたい、そうすることにより、住民の学区を愛する気持ちを高めていきたい、

※ サイズ変更は可能ですが、2ページを超えないように作成してください。

※ 用紙の大きさは日本産業規格A4とする。

※ この様式は公開されます。